

Mランドニュース Vol.189

丹波ささ山校 令和5年1月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県丹波篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹
<https://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

今月の言葉

問題は、すべて内にある
他人のせいでもなく社会の
せいでもない

株式会社 吉寿屋 神吉 武司 前会長著
「ありがとうございますの一言」より

新年のごあいさつ

代表取締役会長

小河 吉彦



幸多き新春をお迎えるの
とお慶び申し上げます。
本年は、創業者生誕百年
の年にあたります。四十歳
のおり、鳥根県益田市で創
業した「益田自動車学校」。
今では「Mランド」に名前を
変え、創業六十周年を迎え
ます。
私も四十歳を迎える本年、
さまざまなことが節目とな
るメモリアルな一年に。また、
百年続く企業とするべく、
着実な一歩を歩んでまいり
たいと強く思います。
創業者が大切にしてきた
燦(やわらぎ)の心。「燦の心を育むコミュ
ニティの創造」こそが、社会に
おいての我々の存在意義で
あり、子供、若者、高齢者と
いう全世代がそれぞれの世に
交流し、ときに教え教わり、

人間性を育み、精神的、社
会的進化を続ける場所であ
ることが、Mランドの独自性
に繋がるのだと考えています。
昨年、経営コンサルティン
グ「S・Yワークス」佐藤芳直
先生とお話する機会を得、
その中、我々にとって最も大
切なのは、「言葉」であると教
えていただきました。
一昨年「詩舞奏演」の
時代と言っています。調和が
求められる時代になっている
からこそ、「詩舞奏演」の生
き方を大切にしていきたいと
昨年の行動指針にも掲げた
ところでした。
そこで「詩舞奏演」の中か
ら「奏」をピックアップして、
特に意識して行動していき
たいと考え、今年の行動指針
を、「相手の心に届く言葉を
意識しよう」と掲げました。
インストラクターをはじめ、
Mランドで働くスタッフは、コ
ンサルタント業と同様に、言
葉で生きている自覚が必要
です。我々一人ひとりの発
する言葉で、ゲストに勇気
や希望を与えることもあれ
ば、その逆も然りです。
言葉には、重い、軽いとい
うように質量があり、それ
は言葉の意味や本質の理解、

相手を思いやる心、立ち居
振る舞い、行動など、いろい
ろな要素で重くもなり、軽
くもなります。我々が発す
る一つひとつの言葉によって、
ゲストの安全運転はもちろ
ん、人生にも影響を与える
ことも忘れてはなりません。
Mランドの全スタッフが、相
手の心に届く質量のある言
葉、つまり重い言葉の持てる
人財でありたいと心から願
います。
Mランドは百年企業へ向
けて、とどまることなく進化
していきます。
冒頭に着実な一歩と表現
しましたが、進化するとと
もに「不易流行」。変えては
いけない大切なものを、私た
ちの共通認識として形成す
る必要もあると思っています。
弊社社員一同、本年もご
指導ご鞭撻のほどを心より
お願い申し上げます。
ありがとうございました。



「燦」の教習所へ

営業チーム 上出 健二

昨年十一月、全部署を対
象に、「全体研修会」を二部
制で行いました。

第一部は、弊社が掲げる
「Mランドの理念」の言葉が
もつ意味を、一人ひとり質
問・発表形式で進めます。

今回、一つの言葉でも人に
よって、受け止め方や解釈が
少し異なっていることもみ
られ、「同じ方向性に向かつて」
という意味においては、大切
なことです。



「理念」の共通認識は大切です

毎年、各部署において新
規採用者がありますが、「理
念」が正しく理解できて
いなければ、お客様への向き
合い方も異なってまいります。
そして従来からの在職者
にとっては、受け止め方の再

確認という貴重な時間にな
りました。

第二部では、「理想的な
教習所とは」をテーマに、四
つの班に分かれて、自由に意
見交換を行いました。

テーマに沿って話し合う中
で、それぞれの立場から見
た思いを書きだすことで、さ
まざまな「理想的な教習所」
が見えてきました。



お互いの、熱い思いに耳を傾ける

日常は関わるのではないス
タッフ同士の意見交換は、お
互いが持っている熱い思いを
知ることができ、「Mランド」
という教習所が、どうあるべ
きかを共有できたと感じま
した。

「理念」に込められた願い
を基に、皆さまから愛され
る「理想的な教習所」を職員
全員で創造していこうと、決
意を新たに、全体研修会を
終えました。

サンタがやってきた

営業チーム 上出健二

九年前、兵庫県でも「但馬掃除に学ぶ会」の方々が始められた、「クリスマスゴミ拾い」は、今や全国に広がり、ここ丹波篠山市でも、「みやざき中央新聞」読書会の山下貴子様、清水真有様が、四年前より始められ、「一緒にどうですか」とお声をかけていただき、参加させていただきます。

十二月五日(月)、トライアスロン「チームプレイ」代表八尾彰一様や、有縁の方々を含め、九名で篠山城からMランドまでの約二キロ街頭清掃を実施しました。「クリスマス」に因んで、その出で立ちはサンタクロースやトナカイだけでなく、丹波篠山のイノシシも登場です。



美しい社会を願って

数年前の初参加のときは、人々の視線に緊張もしましたが、回数を重ねると「見てもらっている！」という具合。街を美しくするという意味では、最高のアピールになっていると自信を持っています。

このイベントを続けることで、一人でも多くの方々が「街を美しくする」意識をもっていたければ幸いです。



サンタクロースさん、「ありがとう!!」

「朝活女子部」

五班リーダー 角勝真帆

昨年六月まで、女子職員は各班に分散していました。当時、「朝活」時間帯があった客さまへの窓口業務であったため参加することができず、頑張っただけでいる職員に、仕方ないとはいえ、申し訳なさも感じておりました。

そこで昨年六月より、サービスチーム所属女子職員四名を一つの班として、独自の取り組みを始めました。

活動時間は業務の合間、それぞれ約十分を目安に事務品倉庫、給湯室などの整理整頓や床磨きを続けております。

業務上、全員で席を空けることができません。共同で使用している場所を基本一人で掃除しているため、「どこを、どうするか。何をしたら」の報・連・相は密にしなればならず、結果それがお互いの刺激にもなっているようにも感じます。

これまで幾度となく整理整頓してきた倉庫でも、月日とともに物が増え、放置しているため元の状態になっていることさえありました。



整頓は誰が見ても美しく

また、「誰かがしてくれるだろう」と着手しなかった給湯室の整理整頓と、床磨きも再開しました。

タイルが美しくなっていくことが嬉しく、手や腕の痛みも忘れ「もっと！さらにもっと！」と夢中になるものです。



一人ひとりが、毎日コツコツと...

まだまだ「現在進行形」ではありますが、美しく整った環境にいること自体が気持ちよく、前向きな気持ちで仕事をさせていただいております。

お便り

昨年、インターンシップにお越しいただいた、県立篠山産業高等学校二年生 酒井周太朗様より、嬉しいお便りをいただきましたので、ご紹介いたします。

先日のインターンシップでは、お忙しい中であるにもかかわらず、実際の業務を体験させてくださったことはもちろん、事前訪問や事後の書類作成に至るまでの多くのことがらについて、大変お世話になりました。

実際の職場の雰囲気を感じながら数々の体験をきかせていただいたお話は、社会人になるにあたって、多くのことを学ばさせていただきました。

「あいさつ」をすることが地域を変えるという考え方や、ゴミを拾うことを「運を拾う」というように、ポジティブに捉えることがとても興味深く、面白いと思いました。

このような考え方の他にも、教習で運転者の視線に対する注意や、ぶつかりそうになったときに補助ブレーキを踏むなどの、細かく業務をされていると聞いて驚きました。

今回の体験で得た多くの学びをしっかりと踏まえ、今後の学校生活に全力で取り組むとともに、将来に向けてもこのたびの学びを活かしていきたいと思っております。

今月のありがとうカード

Mランドの皆さま

短い間でしたが、お世話になりました。わからないことはかりで、生活や運転になれるのに時間がかかりましたが、毎日かとても楽しくてあつという間の二週間でした。理解できるまで優しく丁寧に教えてくださった。インストラクターさんと色々なお話ができて嬉しかったです。そして受付やミロの皆さま、ホーマーさん、お掃除の方々、本当にありがとうございました。 Mランド大好きです♥ 早川みこ様

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

昨年もさまざまな方々との出会いの中で、自身の視野を広げていただきました。

まさに「学びは一生」。今年もどうぞよろしくお便り申し上げます。(徹)

【掃除に学ぶ会】のご案内

私たちと一緒にゴミ拾いをしましょう。

1/8(日) Mランド周辺
AM7:00~8:00 担当:大澤

1/29(日) Mランド周辺
AM8:00~9:00 担当:前川

※当日はMランド集合です。(雨天中止)
ご参加いただける方は井本までご連絡ください。